



徳島大大学院 川添 和義准教授

四国健康 七

漢方薬に関心、古い薬のライオンを持つられる方も多いのではないかと感じます。しかし、漢方薬は今の大学病院などの大きな病院でも外来・入院患者を問わず、毎日のように処方される立派な治療薬として大活躍しているのです。

明眼薬や冷え性などの治療に漢方薬は活躍しています。

うな感じの時には大建中湯が、ストレスなどでノドが結まった感じがあって場合によっては吐き気や呼吸困難を感じるときに毎半厚朴湯がよく用いられます。このほか、理中

漢方薬 現代医療に活躍

いずれも西洋医学の対応が困難で、治療にはいる必要があるようなケースですが、漢方薬では、2種類の処方での治療できる可能性があります。しかし、漢方薬は決して万能ではなく手術が必要な疾患やがんなどの治療は困難です。また、適正に利用しないと副作用の肩がられることもあります。漢方薬には本来煎じ薬、粉末、丸薬などの様々な形があるのですが、最近ではより使いやすいエキス顆粒剤やカプセル剤などを利用されています。これも現代医療に漢方薬が浸透した一つの理由と言えます。

例えは、器質的には何も問題がないのに何となく食欲がなく、胃が痛んで吐き気などに悩まれることがあります。医学的には治療しにくいような症状には対応できる医師があまりありません。しかし、漢方薬の六君子湯で改善するケースが多くあることが分かり、今では食欲不振・嘔吐などに効してよく処方されます。また、便秘気味でガスがたまり、おなかが何となく冷えて三口三口腸が動けな

利用できる一般用（OTC）薬品です。そのうちの約100種類は医師の処方箋があれば保険が適用になりますが、保険を利用しなくても薬局やドラッグストアでも気軽に買いかめることができますので、添付文書をよく読んで上手に漢方薬を利用してみてはいかがでしょうか。

意外に思われるのですが、漢方薬は全て処方箋が必要なくも利用できます。